

小規模多機能型居宅介護 サービス評価 【事業所自己評価】

◆事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	3		11

前回の改善計画
新規の利用者を担当する職員は、おおむね3ヶ月間の関わりを通して、本人の情報を収集する（本人を取り巻く環境、これまでの暮らし、現在の暮らし、趣味嗜好等） ※『利用者を知る』ことへの意識を継続していくため、昨年と同様の計画とする
前回の改善計画に対する取組み結果
担当職員だけでなくチームで新規利用者と関わりを深め、情報収集に努め、職員間で共有や対応はできている。一方で業務に追われ、ニーズの掘り起こしや自宅での様子や過ごし方の情報収集が十分でない。職員個々によって情報発信に差があり、取り組む姿勢に差が生じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	8			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	9			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	7			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	9			11

できている点
利用開始の初期支援では、関わる時間を積極的に作り、本人を知るように意識、声掛けを行い、より丁寧に関わりながら積極的にコミュニケーションをとっている。関わり方、支援の仕方に工夫が必要だと感じた情報はミーティング、ケア記録の他、申し送りファイル等で共有し、本人に合わせた関わり方や支援に繋げることができた。 退院に向けたカンファレンスに出席し情報を収集している。PT、福祉用具業者と共に、自宅環境を確認している。 一方的な言葉かけにならないように、本人様と良く話し日々の様子を観察、コミュニケーションをとりニーズを把握。ケアマネに報告、他職員と共有している。 新規ご利用者の基本情報等を利用開始前に確認、開始後はケース記録や部署会議等で情報を共有。

できていない点
日々の業務に追われ利用者との関わる時間が持てていないため、しっかり情報収集できていない。 本人や家族の必要としている支援について把握できていない部分があるように感じる ケアプランに沿った支援をしていくが、ケアプランを把握できていない時もあり、ニーズに沿った支援が出来ていない時がある。本人と関わる時間が十分に取れず、新たな情報を得るのが難しい時がある。 職員によって情報発信に差があり、情報共有が不十分に感じる。

次回までの具体的な改善計画
新規利用者はケアマネ・担当職員を中心として、職員間で円滑に情報共有が図れるよう各自コミュニケーションを密にし、関係性の構築、課題抽出に努める。自宅での生活環境の把握は、ベッド回り・トイレ・浴室等図面に落とし込み共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和	7年	2月	1日
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤			

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	5	4		11

前回の改善計画	“やりたい”“やってみよう”と思える、本人の気持ちを引き出す働きかけや声のかけ方を工夫する。 （特に、意欲低下や傾眠傾向にある方への働きかけを積極的に行い、チームで実践内容を共有する）
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者の思いを大切にして、意欲を引き出す働きかけは行事担当者を中心に季節ごとに創作・レク・畑作業・園芸など工夫を凝らして意欲的に参加いただけている。意識的な関わりを通じて知り得た情報は共有されているが、その後の対応が曖昧なまま結論まで至らず、ゴールに繋がるものとなっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	6	4		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	4	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	5	5		11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	6	3		11

できている点	本人の思いを組み取る為の意識的な関わりにより、知り得た情報を基に職員間で共有し意見交換を行った。また「やってみよう」「できる事をしよう」と本人の意欲に繋がる（引き出す）目標を引き出し、レクリエーションの中で実行した。 季節ごとに行事を企画し、畑や園芸にも取り組んでいる。黒豆の皮めくりの提供など、手や指を動かすことで脳にも刺激を与え心の安定にもつながる。 日課活動の提供を働きかけ、レクの内容で参加したくない苦手意識のあるご利用者に「やってみたら楽しい」と思ってもらえるような声掛けなどをして、新たな実践内容を作り行えた。 ご利用者への支援の質の向上のため、申し送り、相談を行うことができている。
--------	---

できていない点	意見交換等により職員間で共有はしたものの、その場限りとなり、振り返りやその後の対応も含め、曖昧なままで決まきれていない場合が多かった。常に日課となる活動があるわけではないので、暇を持て余す時間もある。業務優先になっていた。話せない等コミュニケーション不足の利用者の目標が理解できていない。本人の出来る事が、家族の都合、業務の都合で関わりが薄くなり出来ない事になってしまう事がある。 各個人の目標（ゴール）、本人の当面の目標「～したい」がわかりにくく把握が不十分。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	本人の「～したい」気持ちを引き出す働きかけや声のかけ方を工夫する。特に意欲低下や傾眠傾向のある利用者が発する言葉や行動などをケア記録に残して具体的な支援に繋げていく。 一人ひとりの「楽しみ」を把握・情報共有し、「本人の目標（ゴール）」を理解する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 1 日
3. 日常生活の支援	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	4	3	2	1 1

前回の改善計画	「科学的介護加算（LIFE）」における現状の評価を継続し、本人の状況を見える化する。現状を把握する過程で、観察・ヒアリングした内容をケアマネジャーへ伝え、ケアの方法を検討、ケアプランへ反映する。
前回の改善計画に対する取組み結果	総括的には本人の状況を観察、ヒアリングした内容はケアマネジャーへと繋げられている。課題はキャリアにより観察力だけでなく、発信力に差があること。本人の状況に合わせて相談・検討しているが、ケアプランへの反映や LIFE の活用は不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3	7	1	1 1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	7			1 1
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	3		1 1
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9			1 1
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	8			

できている点	多くの関わりが持てるよう積極的に声掛けを行い、コミュニケーションを取っている。 適切な声かけで、できることはしていただいている。過剰な介護支援は行わない。同性介助的なことも考慮し対応している。ご利用者本人の状況に合わせ、適したケアについて相談検討ができています。 事業所では自宅で過ごされている時と同じ事が出来るように考え、支援している。 本人のケアや状態の変化はケース記録に入力して情報共有、把握するよう心掛けている。
--------	---

できていない点	別の職員に直接口頭で確認しているが、申し送りの把握について理解不十分だと感じる時がある。 LIFE における本人の状況の見える化が出来ていない。日々の現状の把握だけで業務優先になっており、利用者のことが後回しになっている。自宅での様子は尋ねても答えがもらえず、暮らし方を把握できない必要なケアを理解していても、業務の進行や状況に合わせて手を貸した方が早いと思い「出来る事」まで介助してしまう。「できる事」への理解も若手職員、中堅職員での認識や対応の相違が発生する事もある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	本人との関りはもちろんのこと、家族と関わりを深めて施設外での生活習慣の把握に努め、ケアプランへの反映やケアの見直しへ繋げる。発信力の弱い若手職員には中堅以上の職員と一緒に課題解決に向けて考える機会をつくる。LIFE における現状評価を継続して本人の状況を把握する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 1 日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		5	6		11

前回の改善計画	認知症のある方や独居の利用者を中心に、センターシートを活用し、本人の生活スタイルや人間関係（家族・介護者・近隣・友人・主治医等）を把握する。ケアマネジャーと連携し、利用担当職員が取り組む機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者と関わる機会を大切にしているが、地域資源の把握が不十分なこともあり、生活スタイルや望まれていることを十分に知り得るまでには至っていなかった。またセンターシートの活用ができていない（理解不足を含め）こともあり、本人を取り巻く人間関係（関係性を含め）を把握しきれていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		5	6		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		7	4		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	6	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4	5	2	11

できている点	担当ご利用者の関係性や暮らしぶりはアセスメントの観点から理解している。 成年後見人と情報共有している。家族との報連相はできていると思う。 ご利用者と関わる機会を大切にできている。
--------	---

できていない点	地域の中でご利用者の立ち位置が理解しきれておらず、望まれるものを（本音）知り得ていない。 センターシート、利用者担当職員が取り組む機会が出来ていない。利用者担当職員が安定せず毎日の業務で終わっている。 家族様や地域の方との連携、地域の資源を活用すること。 センターシートの活用が出来ていないので、細かい部分まで現状把握しきれていない、理解しきれていない。 本人が独居で家族が遠方居住の場合、家族含め現状把握する機会が少なく事業所に任せきりになる。 民生委員や地域の資源の把握、本人の生活スタイルや人間関係（家族構成等）を把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	センターシートの活用、見直し、理解を深め、現在の状態、生活環境や人間関係を把握し、当人の声も踏まえて必要な支援を改めて考える。地域生活支援の勉強会を開き、利用者・家族・地域資源と施設がどのように関わって安心した生活が継続できるのかを考え支援に繋げる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 1 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		5	4	2	11

前回の改善計画	新人職員や異動で配属となった職員が増えたこともあり、地域の資源（フォーマル、インフォーマル）について知る。地域の資源マップを活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者やご家族のニーズに合わせて「通い」「訪問」「泊り」のサービスが提供できている。地域資源は、散髪や買物支援、配食サービス等で活用できている。一方その他の地域資源については知識不足や理解不足のため活用できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	4	4	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	8	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	6			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	7			11

できている点	ケアマネジャーとの話し合いを通じて実施しているサービス、ケアにおいて度々最新状況を報告や意見交換し、本人の変化は日々情報共有できており、迅速で柔軟な対応に繋がっている。朝のお迎え時の体調により自宅で異変があれば訪問で対応等など、柔軟に支援が来ていると思います。ミーティング等で情報共有できており、通い・訪問・泊りを適切に提供、柔軟な対応支援ができています。散髪や買い物支援、近所づきあい、配色サービスの利用等地域資源の活用が来ている。朝出勤後、迎え、訪問に出る前に必ず業務日誌（記録）によるご利用者の状況を把握してから向かうように心がけている（ご利用者の日々の変化に気づけるように）
--------	---

できていない点	地域資源についての知識不足や理解不足により活用意識も薄く、自ら発信する提案が来っていない。緊急時の時は色々な施設と相談しご利用者が安心して生活できることが望ましい。特養やグループホーム入所待ちで長期間に渡って宿泊利用をされる方がいるので、月により緊急時の枠が十分に確保できない時があり本当に必要なご利用者が宿泊できていないと思う。本当に必要な人が必要な時に家族支援も含め柔軟に対応できると良いのと思う。家族の思いは優先されるべきだが、施設の負担が大きい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	地域資源の把握が十分でなく活用できていないこともあり、今一度地域資源（フォーマル、インフォーマル）について理解を深める。活用法も含め、勉強会を開催する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 1 日
6. 連携・協働	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		6	4	1	11

前回の改善計画	
R6 年度 4 月の部署会議にて、『小規模多機能型居宅介護施設について』勉強会を行い、地域とのかかわりについて学習する。（事業所のあり方についても考えていく機会とする）	
前回の改善計画に対する取組み結果	
会議や地域イベントには役職者が出席し地域との関わりの窓口となっている現状があり、他職員は積極的な参加ができていない。今一度『小規模多機能型居宅介護施設について』勉強会を行い、地域とのかかわりや事業所のあり方について学ぶ必要がある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	3	3	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	3	6	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	5	4	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	4	2	11

できている点	
新型コロナウイルスが五類になり、2 年目にしようやく地域との活動も再開され、少しずつ地域と関わる機会が増えた。施設の駐車場で案山子作りを一緒に行うことが出来たが、子供の参加は少なかった。コロナも落ち着き、地域との関わりも戻りつつある。会議等は上長が出席している。 町内の祭り（交流の場）に、ご利用者と顔出している。 その他のサービスや地域の各種機関、団体との会議は管理者、ケアマネジャーが出席している。 地域の中学生による福祉体験学習の受け入れを行った。	

できていない点	
外部とのかかわりは管理者やケアマネジャーに任せるのが普通になってしまっている。自分自身が積極的に関わっていない。行事等があっても、施設外から来られることがなかった。 フォーマルサービスとの関わりがもてていない 外部機関との関りについては理解しているが、会議に参加していないため、実際の話し合いの内容を把握できていない（議事録確認のみ） 去年と同様に地域の行事やイベント参加等、積極的に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	
引き続き『小規模多機能型居宅介護施設について』勉強会を行い、地域との関り、事業所の在り方について考える。また、地域イベント等を通じて個々が積極的に関わる機会をつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和	7年	2月	1日
------------------	-----	----	----	----	----

7. 運営	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤
-------	------	------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		1	2	8	11

前回の改善計画	事業所で開催している運営推進会議において、介護職員の参加を促す（管理者・ケアマネジャーに加えて、1～2名）。※昨年と同様の計画とする。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議には管理者、ケアマネのみが出席しており、他職員は参加できていない。 運営推進会議議事録の確認のみとなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		6	2	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	8	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	3	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	1	5	3	11

できている点	ご利用者、ご家族、介護者からの意見や苦情は真摯に受け止めすぐに職員間で共有し、管理者やケアマネジャーに報告し迅速に対応、早い段階で運営に反映できている。 運営推進会議に3地区の民生委員さんが交代で参加。区長、市の長寿福祉課担当者も毎回参加。 地区広報に取り組みを案内している。地域の行事に参加。 本人、家族の思いをチームで共有できている（自身が聞いた事は上長やケアマネへ適宜伝えている） 運営推進会議後の議事録を確認し、事業所の在り方など考えます。
--------	--

できていない点	ご利用者、ご家族からの意見等について、自ら聴くことをしなかった。 運営推進会議には管理者、ケアマネのみの出席し、他職員の運営推進会議への参加がなかった。 地域交流はできる所から再開しているが多くの方と交流するまでには至っていない。 職員としてあまり意見が言えていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	管理者・ケアマネの他、介護職員に運営推進会議への参加を促し意見や感想を残す。 運営推進会議の意義、知識と理解を深め、円滑な施設運営に繋げる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 1 日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	9			11

前回の改善計画	職場での研修（勉強会）で知識や技術を向上することは必須と考える。R6 年度も毎月の部署会議で勉強会を開催する。各種委員会の取り組みも取り組みの成果や課題を明らかにしながら進める。
前回の改善計画に対する取組み結果	個々では勉強会を行ったり、研修に参加したり、自主学習に取り組んだり、若手職員への技術指導の際に振り返る機会を作ったりとスキルアップを行っている。部署会議にて毎月勉強会を行っている他、法人研修も行っているが、勤務状況や家庭の事情により研修会に参加ができない職員もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	8	1		11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	5	1	11
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8		1	11

できている点	部署会議で自身の年間目標に掲げている「EQ～心の知能指数～」についての勉強会を実施。 事故・ヒヤリハット発生時は職員間で検討し次に繋がっている。 毎月部署会議にて研修会を開き、取り組んでいる。 出張で研修に参加させてもらい、新たな考え方ができて良かった。 時間をみつけ、勉強会資料に目を通して自主学習取り組んだ（スキルアップのため） 若手職員から介護技術、知識等を聞かれた時は一緒に行い自身の技術や知識を振り返る機会とした。 サービス向上研修会への参加、実務者研修に参加。
--------	--

できていない点	事故事例に対し、同様の転倒事故が続き、リスクマネジメントが不十分で機能していなかった。 法人研修は家族の都合で参加できていない。地域連絡会への参加。 本部で開催される研修会、勉強会への参加が出来ていない。（設定曜日の都合）開催日を他の曜日にすることも検討してほしい。法人研修は勤務で参加できなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	R7 年度も毎月の部署会議にて勉強会を実施しスキルアップに努める。役職者だけの主導ではなく、他職員も登壇者となり、全体のスキルを磨き向上させる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 1 日
9. 人権・プライバシー	メンバー	才本・福木・青木・上田・大江・奥田・形山 安達・木村・橋・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	3		1 1

前回の改善計画	虐待防止・身体拘束適正化委員会を中心に一年間継続した取り組みを実施する。毎月の部署会議で、取り組み状況を確認し、課題を検討し、次月の取り組みに繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待・身体拘束は行われていない。プライバシーについては常に配慮しているが、認知面などで伝わりにくい場合は大きな声になって回りに聞こえてしまうことがある。不適切な発言や行動、身体拘束の取り組みが年間を通して十分とは言えず、感覚麻痺についても考える必要があると考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	4			1 1
②	虐待は行われていない	8	3			1 1
③	プライバシーが守られている	4	7			1 1
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7		2	1 1
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	7			1 1

できている点	事業所の中で常に尊厳を守ることが重視されており、職員間での話し合いができる、自身にとっても介護士として倫理観を保てる環境である。身体拘束や虐待は行われていない。 毎日ご利用者に伝えている言葉が正しいのか考えながら話をしている。 年間を通じての取り組みは不十分だが、業務のスリム化職員の負担軽減の効果はあった。 利用者の尊厳を守り、介護支援を行っている。 利用者が出来る事は自身でしていただくよう心掛けた。利用者の個人情報には話さないように気を付けている
--------	--

できていない点	介護士資格取得後、自ら学ぶ姿勢が継続できていない。 他の職員が不適切な言葉、行動をしていても注意出来ない。 身体拘束の取り組みが不十分であると感じる。感覚麻痺については意識付けが必要。 プライバシーが守られていない時がある。トイレなどの声掛けをする時に他のご利用者に聞こえている場合がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	※R6 年度と同様の改善計画とする。 虐待防止・身体拘束適正化委員会を中心に一年間継続した取り組みを実施する。毎月の部署会議で、取り組み状況を確認し、課題を検討し、次月の取り組みに繋げる。
---------------	---